

防災士記者

備えのコンパス

各地で豪雨災害が起きるたびに、逃げ遅れをいかに防ぐかが課題になっています。もし遠くの家族に危険が迫っているなら、電話などで安全な場所や建物に移動するように、避難誘導をしてはどうでしょう。スマートフォンをはじめとする通信技術の発達により、住民が行政とほぼ同時に災害情報を得られるようになりました。地元はもちろん、家族が暮らす地域の災害情報も簡単に入手するこ

家族に連絡し避難誘導を

とができます。

人は誰もが、災害が迫っていても「何も起きないのではないか」「自分は大丈夫ではないか」と考える傾向があります。そんなときに、家族の連絡は避難のきっかけになるはずです。

避難しても、実際には被害がないことの方が多いと思います。空振りと考えるのではなく、いつか起きる災害を前に、本番さながらの練習ができたと考えましょう。

Disaster prevention expert reporter

Directions for prevention

避難情報が出ている地域に住む家族に避難の連絡を



©河北新報社

イラスト さとうあけみ

Contact family members and urge them to evacuate.



©The Kahoku Shimpō

Illustrated by: Akemi Sato



新聞ってどんな風に作られているんだろう？

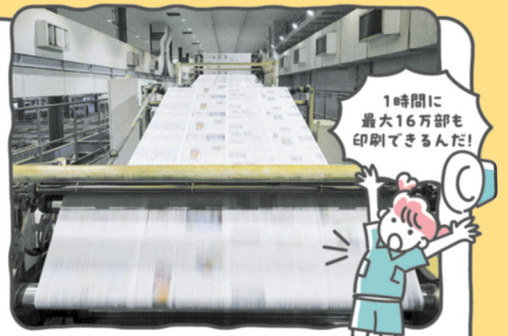
河北新報印刷 おかげさまで稼働20年

新聞ってわくわくする

＼印刷工場を見学しよう！／

「河北新報が届くまで」のビデオ、高速タワー型オフセット輪転機による印刷の様子、河北新報の歩み、取材、編集の流れなどを紹介した展示コーナーがご覧いただけます。

- ★ 午前10:30～、午後1:15～ 1日2回、各60分程度
- ★ 5人以上100人程度まで
- ★ 見学希望月の3カ月前の1日～2週間前まで受け付けます。
- ★ 学校行事の場合は6カ月前の1日より受け付けます。

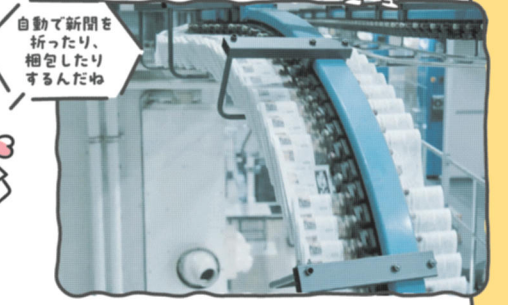


1時間に最大16万部も印刷できるんだ！



初めて見る機械がたくさん！

自動で新聞を折ったり、梱包したりするんだね





新聞の紙ってどれくらい必要なの？



こちらの二次元コードから工場見学予約できます！

詳しくは河北新報印刷へ
TEL.022-777-3880



販売店へGO！